

一 次の文章を読んで後の問いに答えよ。送り仮名などは原文通りにしている。

電車の中で、時折り、若い男が足を大きくひろげて（ A ）座席に坐っているのを眼にする。

その度に、私は、その男が広々とした地で生れ育ったひとであるのを感じる。少なくとも東京の家屋密集地帯で幼、少年期をすごした人では決してないことを知る。

なにも私は、人口密度の少い地方出身者を^a蔑んでいるわけではなく、むしろそのような坐り方のできるおらかな習性を身につけているのを、^b羨ましく思う。と同時に、その若い男も月日がたつうちに、この東京ですぐすには足を開いて坐つてはいられないことに気づき、足をせばめて坐るようになることを気の毒に思う。

私が生れ育ったのは、その家屋密集地帯の一つである。

庭などある家は、^c竈で、そのため軒庇に鈎忍ぶを吊して窓格子に朝顔の蔓をからませたり、今でもみられるが、戸口の両側に植木鉢を並べたりして、緑に対するわずかな慰めとしている。

家がびつしりと並んでいて、隣家の人声も物音もきこえる。道路以外に空間と呼べるようなものはない。

そうした所で住む人間は、そこそそ足を開くどころか体を小さくして生きてゆかねばならず、それが習性化して性格ともなっている。

子供の頃、母が口にする言葉はただ一つ。世間様の御迷惑にならぬように……と。

それだから、掃除にしても隣家の前まで掃き清め、水を打つ。近くで通夜、葬儀があると、ラジオの音を極度に低め、（ B ）レコードなどかけはしない。笑い声をあげたりすると、きびしく^dたしなめられた。

朝、小学校へ通う時には、近所の人に帽子を取つて挨拶し、窓の中の人にすらお早ようございます、と頭をさげる。道を歩くにも、端を通るように心がけた。

町そのものが大きな共同住宅のようなもので、それ故に絶えず周囲に気を配りながらでなければ生きてゆけない。たとえば、一軒の家の者たちが、手足を大きくひろげるような、思いのままの生活をしたりなどすれば、

①ドミノゲームの並べた物が倒れてゆくようにつぎつぎに他に波及して、（ C ）蜂の巣をつついたように町全体が狂乱の^d慄になり、收拾がつかなくなる。

それを無意識ながら知っている住民たちは、ひたすら自分の^e我を殺し、控え目に控え目に、と日々をすごす。

明治の初めに人力車が初めて東京に現われた時、用もないのに珍しいからと言って乗った男たちが、乗ったはいいが気恥しくて頬かぶりをしていたという。（ D ）東京の男らしく、控え目ということが身にしみついているので、人の眼にふれるのがたえられず、顔をかくしていたのである。

私の生れ育った町に接している根岸、谷中あたりは、関東大震災にも空襲にも被災をまぬがれ、戦前からの人たちが住み、家並も残っている。

私は、好んでそれらの地をあてもなく歩くが、近時、下町ブームとかで地図を手に歩きまわる人が多い。東京にもこのような地があるのを知ってもらうことは嬉しいものの、寺の奥庭に入ったり人の家をのぞきこんだりするのを見ると、観光地じやあるまいし、と顔をしかめたくなる。人々が控え目に暮しているのだから、その地を訪れる人たちも控え目に歩き、覗き見するようなことはしてもらいたくない、と思う。

②このような控え目にといいことを信条に生きている人たちの中からは、決して政治、経済を動かすような人が出るはずはない。

明治維新の折りに、官軍が江戸に迫った時、下町では湯屋がいつものようにひらいていたという。江戸での唯一の戦いである上野の戦さも、彰義隊は旧幕臣と薩長士肥の動きに反感をいだく各藩の脱藩者たちで、町民は参加する意志などなく、戦火が迫ろうとしているのに湯につかっていたのである。

社会を変革するエネルギーは、常に地方でぎざし、政治権力の中心地に津波のように押寄せる。それは革命の^fウ定石で、明治維新、ロシア、フランス革命、紅衛兵の動きなどすべて^g軌を一にする。

世間様に御迷惑をかけまい、と、（ E ）あたりに気をつかっている人間たちには、そのようなエネルギーが蓄積されるはずがない。詮じつめれば、③社会の進歩に少しも貢献することのない、気の弱い傍観者たちにす

ぎない。

大革命にかぎらず、小さな革命が絶えず東京に押し寄せている。当然のことながら、それは破壊をともない、その上に新たなものが作り上げられる。

古くからある町名が消えて、郵便配達に便利な記号に似た町名に容赦なく変えられる。戸口に植木鉢が並べられていた家々は機械力でこわされ、そこに鉄骨とコンクリートでかためられた高層建築が聳える。高空から撮影された写真をもとに直線がひかれ、その線内にある建物は一掃されて車の行き交う道路となる。

なにも、それが一概に悪いというのではない。私自身、未知の人の家を訪れる時、新しい町名の所番地をたどれば容易に行きつくことができるし、広い道路を走るタクシーを利用してもある。

④ 密集地帯に生れ育った私は、江戸に官軍が迫った時に湯につかっていた人に似て、東京のいつ果てるともない大変貌を傍観しているにすぎない。

吉村昭の文章による

問一 傍線部 a ～ e の読み方として適当なものをそれぞれ後の①～④から選んで記号で答えよ。

解答番号 a ① ② ③ ④ ⑤

- | | | | | |
|---|--------|--------|--------|---------|
| a | ①ねたんで | ②たたずんで | ③たたんで | ④さげすんで |
| b | ①いじましく | ②ねたましく | ③やかましく | ④うらやましく |
| c | ①まれ | ②いき | ③いなせ | ④おつ |
| d | ①みなと | ②うず | ③ちまた | ④あたり |
| e | ①はえる | ②そびえる | ③まかなえる | ④よみがえる |

問二 () A ～ E に入る言葉として適当なものを次の①～⑤から選んで記号で答えよ。

解答番号 A ⑥ B ⑦ C ⑧ D ⑨ E ⑩

- ①いかにも ②あたかも ③ひたすら ④むろん ⑤ゆつたりと

問三 傍線部 ア ～ エ の文脈上の意味として適当なものをそれぞれ後の①～④から選んで記号で答えよ。

解答番号 ア ⑪ イ ⑫ ウ ⑬ エ ⑭

- | | | | | |
|---|----------|----------|------------|--------------|
| ア | ①殴られた | ②注意された | ③恥をかかされた | ④見せしめにされた |
| イ | ①協調性 | ②役目 | ③考えや意志 | ④功労 |
| ウ | ①決まったやり方 | ②古典的なやり方 | ③激しい流れ | ④エネルギーシユなやり方 |
| エ | ①最も尊い | ②目的を統一する | ③価値観が同じである | ④やり方が同じである |

問四 傍線部 ① の比喩の種類として適当なものを次の①または②から選んで記号で答えよ。

解答番号 ⑮

- ①直喩 ②隠喩

問五 傍線部 ② のように断言する筆者の心情として最も適当なものを次の①～④の中から選んで記号で答えよ。

解答番号 ⑯

- ① 控えめな人は自分のことしか考えない人物だと情けなく思う気持ち。
② 控えめな人は権力や財力への意欲がなく向上心がないと侮る気持ち。
③ 控えめをポリシーにしてつましく生きる人たちを肯定し共感する気持ち。
④ 控えめに生きる人も積極的に自己改革をしてほしいと激励する気持ち。

問六 傍線部 ③ のように言う理由として最も適当なものを次の①～④の中から選んで記号で答えよ。解答番号 ⑰

- ① 社会変革のための痛みのような戦争は武士の世界のことであり、庶民にとっては異次元で起こった出来事のように思うから。
② 戦火が迫ろうとしているのに湯につかっているようなのんきな人間には世の中を改革するような意欲はないから。

- ③ 社会を変革するエネルギーは常に地方で起こり、政治権力の中心地の人々は何を改革するべきか気がつかないから。
- ④ 周りに迷惑をかけないことばかりにエネルギーを使うから周囲と摩擦を起こすような革命・改革を起こす気にはならないから。

問七 傍線部④に込められた筆者の気持ちとして最も適当なものを次の①～④の中から選んで記号で答えよ。

解答番号 18

- ① 景観の変化や町名の変更など東京の変化などには全く無関心であり、世間の迷惑にならないことだけを考えてひっそりと生きていこうという気持ち。
- ② 古い東京に愛着を抱いているので、東京の新しい変化に当惑しているが、「控えめに」という教育を受けているので不本意ながらも傍観しておこうという気持ち。
- ③ 庶民のつましい暮らしや、古い地名が残る東京が新しくなることに対して、強引なやり方や伝統を無視したやり方に対して怒りをぶちまけてやろうという気持ち。
- ④ 「控えめ」という教育を受けたので、東京のめまぐるしい変化について行けない時代遅れの老人になったことを自覚させられ、自ら情けなくなる気持ち。

二 次の文章を読んで後の問いに答えよ。

乃木大将といえは大正元年九月十三日明治天皇の御大葬の日、殉死した武将として有名である。その乃木さんに、日本最初のミス日本をめぐる興味ふかいエピソードがある。

明治四十一年三月五日付時事新報は、「日本一美人当選者、小倉市室町直方四女末弘ヒロ子嬢（二六）」と社会面トップ記事で報じ、ヒロ子嬢の a カ麗な写真を掲載した。アメリカ、ヘラルド・トリビューン社の世界美人コンクール開催依頼に応じた時事新報社が、日本全国の新聞社の協力を得て第一次審査を通った二百十五名から選んだ初代ミス日本である。

ヒロ子嬢の住所が小倉市となっているのは、父直方氏が函館市長（当時区長）から小倉市長に栄転したため、本人は東京の義兄宅から*学習院に通っていた。直方氏が警視第一部長のとき、七人兄弟の四女として東京で生まれ、父の転勤で岩手、香川と移転し、函館では遺愛女学校で学び、上京後は学習院女子中等部に在学していた。

コンクールに応募したのはヒロ子嬢の義兄で、「妻であるヒロ子の姉にも無断で有合わせの写真を送った」ものの。ヒロ子嬢を訪問した記者は、「写真から脱けてきたかと思ふばかりの美しさ」に感動している。記者の質問に姉が「ヒロ子の長襦袢丈は三尺三寸、袖一尺五寸五分」と明かしているのは現在のミス当選者の B・W・H 発表に似て、寸法から察して身長一五六センチほど。当時の日本女性が一四〇センチ台だから、かなり大柄だろう。賞品として、「ダイヤモンド入天賞堂製指環価三百円」が贈呈された。中流家庭の食費一人一日十五、六銭でまかなえる時代のこと、現在では一千万円近い価格だろう。

ところが事態は急転する。二月八日、学習院は義兄をリショウ喚し、「コンクール応募は学習院の教育方針に反する」と退学を通告。驚いた時事新報社は、九日記者に学習院を訪問させ、「ミス・カナダも市長の息女。ヒロ子嬢を退学とは」と撤回を願った。学校側は聞き入れず、記者はその足で赤坂新坂町の乃木学習院院長を訪れる。院長の「同件はまだ確定しておらず拙者が含み置く」との返答に、名に聞えた武人乃木、「武士の一言金鉄の如し」のはず、と記者はア愁眉を開いて退出したのであった。

ところが九日、ヒロ子嬢の義兄に学習院より出頭命令が届く。翌日出向くと、学監が「当方は議論を好まず自ら退学せよ」と命じる。①時事新報は紙上で、「乃木大将ともあろう武人が約束を無にするとはい」とただく。この事態にヒロ子の父直方氏は小倉より上京、十四日に乃木邸を訪問、院長は、「寄贈品を領収せざれば在学すべし」と退学を撤回。直方氏は十五日に乃木院長を訪れ、了解を得ている。

これで「問題は落着」のはずとの c アン堵も束の間、翌日院長、またも「意に満たぬ所あり自ら退学を」と要求してきた。各新聞は、將軍の右往左往ぶりに d キコウ弾記事を掲載する。三月三十一日付で大阪毎日新聞は、

「乃木將軍たるもの、かつて女子頭上の二〇三高地を落し入れたる勇氣をもって②心のくざつた女子を顛倒せよ」と皮肉っている。当時女性の高く結った髪型を二〇三高地といった。乃木大將は東洋一堅固と評判の*二〇三高地を陥落させながら「二〇三高地を結い要塞のように頭の固い学習院女教師、女生徒を陥落させることができなかったとは、とイ揶揄しているのである。

各界のトップレベルにあったコンクール審査員もだまっていな。洋画家岡田三郎助、新派俳優河合武雄、医学者三宅秀、三島通良、東大教授坪井正五郎等を代表して、彫刻家高村光雲が「美人のことを云々するのは卑しむべきことのような傾きがあるが、美は健に通じる。退学させるとはe時代サク誤も甚だしい」と非難した。ことにそのころ、岡田の三越fセブン伝美人ポスターは美術史に残るといわれただけに、三越デパートを始め副賞品申し出が相次ぎ二十九店、化粧品は十九店に及んでいたのである。

だがヒロ子嬢はついに退学。コンクールに応募した他の学習院女生徒の陰口にも耐えられなかった、ともらしている。美人コンクールを卑下する説もあるのも女の嫉妬ぶりも現代と同じである。翌四十二年、アメリカ・シカゴのヘラルド・トリビューン社主催の世界美人コンクールで、ヒロ子嬢は六位に入賞している。

興味深いのは、③のちに乃木院長は自ら仲人となつてヒロ子嬢を野津道貫將軍の子息鎮之助大尉に嫁がせていることだ。野津家は鹿児島県出身、ヒロ子の父直方も鹿児島県川内市平佐町出身。乃木夫人の実家湯地家も薩摩藩出で野津家とは工知己の間柄で、明治十一年乃木中佐夫妻の婚約の日、野津大佐も同席している。乃木大將は、自ら仲人となつて、日本一美人のヒロ子嬢を添わせた青年將校鎮之助大尉の英姿に、戦死したわが子*勝典、保典の面影をみていたのではなかったか。

後年、野津鎮之助・ヒロ子夫妻の次女真佐子は、倉敷紡社長で大原美術館長の大原総一郎夫人となる。大原は美術に才造詣深く、棟方志功、バーナード・リーチを支援し、陶芸家富本憲吉を育てたことでも知られている。そこに（A）を想わずにいられない。

森本貞子の文章による

*学習院 旧制の学習院は皇族・華族など上流階級の子供が通う学校だった。軍を辞した乃木は院長を務めた。

*二〇三高地 日露戦争の時、敵陣地にあった要塞。乃木大將は多大の犠牲を出して攻略した。

*勝典、保典 日露戦争の指揮官、乃木大將の二人の息子の名。日露戦争に二人とも出征して戦死した。

問一 傍線部a～fの熟語のカタカナの部分の漢字として最も適当なものをそれぞれ①～④の中から選んで記号で答えよ。

解答番号 a 19 b 20 c 21 d 22 e 23 f 24

a ①加 ②香 ③質 ④華 b ①召 ②将 ③抄 ④相 c ①庵 ②案 ③安 ④暗
d ①球 ②糾 ③急 ④給 e ①措 ②昨 ③策 ④錯 f ①詮 ②先 ③宣 ④専

問二 傍線部ア～オの言葉の文脈上の意味として最も適当なものを後の①～④の中からそれぞれ選んで記号で答えよ。

解答番号 ア 25 イ 26 ウ 27 エ 28 オ 29

ア ①ほっと安心して ②悲しい気分で ③怒りに燃えて ④あきれた様子で
イ ①花を添えている ②あおり立てている ③残念がつている ④からかっている
ウ ①差別的に捉える ②あれこれ言う ③何も言わない ④芸術という
エ ①主従の関係 ②親密な友人関係 ③縁戚関係 ④門閥の関係
オ ①莫大な資金を提供し ②豊かな創造力があり ③広い知識と深い理解があり ④邪な欲望を抱き

問三 傍線部②のように大阪毎日新聞が悪口を書く理由として最も適当なものを後の①～④の中から選んで記号で答えよ。

解答番号 30

- ① ヒロ子嬢が退学の危機にあるのは、学習院の女教師や女生徒たちが、賞金を貰つヒロ子嬢をうらやましがって嫌がらせをするからだと判断したから。
② ヒロ子嬢が退学の危機にあるのは、美人コンクールを卑しめ、学習院の教育方針に合わない女教師や女

生徒たちが激しく抗議したからだと判断したから。

③ ヒロ子嬢が退学の危機にあるのは、学習院の女教師や女生徒たちが、莫大な賞金をもらうことが学習院の教育方針に反すると訴えたからだと判断したから。

④ ヒロ子嬢が退学の危機にあるのは、学習院の女教師たちが優柔不断の態度で、結論を二転三転させ乃木院長もそれに振り回されたと判断したから。

問四 傍線部①のように時事新報が紙上で「乃木大将」をたたく理由として最も適当なものを後の①～④の中から選んで記号で答えよ。 解答番号 31

① 「拙者が含み置く」は退学しなくて済むようにするから任せなさいという意味であつたのに退学の裁定が出たから。

② 「拙者が含み置く」はまだわからないからしばらく待てという意味であつたのを記者が退学は避けられたと早合点したから。

③ 「拙者が含み置く」といっておきながら裏で学習院の女教師たちに相談し、二転三転と曖昧な態度を続けたから。

④ 「拙者が含み置く」は将来の面倒は必ず見るという意図であつたのに記者が退学は取り消しになったと誤解したから。

問五 傍線部③の乃木院長の意図として最も適当なものを後の①～④の中から選んで記号で答えよ。 解答番号 32

① 立派な軍人と結婚させることによってヒロ子嬢の幸福に責任を持つことを公にし、かつて自分を非難した報道関係者を見返す意図。

② 明治天皇が死んだら殉死すると内心決めているので、軍人に美人を嫁がせることによって明治天皇に対する最後のご奉公をする意図。

③ 日露戦争に出征して戦死した二人のわが子に対する指揮官として、また父としての責任を感じ、せめてもの供養をする意図。

④ 美人コンクールの件で退学を余儀なくさせたことを長く気にしており、ヒロ子嬢には是非幸せをつかませたいという強い意図。

問六 (A) に入る言葉として最も適当なものを次の①～④の中から一つ選んで記号で答えよ。 解答番号 33

- ① 明治時代の信念 ② 軍人の忠誠 ③ 美の系譜 ④ 厳格な家訓

三 次の A ～ G の熟語の構成として最も適当なものをそれぞれ後の①～④の中から選んで記号で答えよ。

解答番号 A 34 B 35 C 36 D 37 E 38 F 39 G 40

A 威嚇 B 蔵書 C 逸材 D 緩急 E 涼風 F 愉快 G 雲泥

① 同じような意味の漢字をかさねたもの。

② 上の字が下の字を修飾しているもの。

③ 反対または対応の意味を表す字を重ねたもの。

④ 下の字が上の字の目的語・補語となっているもの。

四 次の A ～ E の意味を持つ四字熟語として最も適当なものを後の①～⑤の中から選んで記号で答えよ。

解答番号 A 41 B 42 C 43 D 44 E 45

A 熱心に読書すること。繰り返し熟読すること。

B じつとがまんして、軽はずみな行動をしないこと。

C おだやかでまじめ、情が厚いこと。

D 目的達成のために厳しい苦勞に耐えること。

E 言ったことがとりとめなく根拠がない意。

- ①大言壮語 ②小心翼翼 ③溫厚篤実 ④一瀉千里 ⑤隱忍自重
⑥荒唐無稽 ⑦臥薪嘗胆 ⑧同床異夢 ⑨草編三絶

五 次のA～Gの文の（ ）に入る慣用句として最も適当なものを後の①～⑨の中から選んで記号で答えよ。

解答番号 A 46 B 47 C 48 D 49 E 50 F 51 G 52

- A 以前看護師をしていたのだけが手当は（ ）だ。
B デートの時刻に遅れそうだから母の話は（ ）に聞いていた。
C 文句は言わないと言った（ ）からもうあだこうだと言っている。
D 先方が態度を改めないならこちらも（ ）つもりだ。
E 失敗したら俺が（ ）から君たちは存分にやってくれ。
F 成績のよいことを（ ）と皆に嫌われますよ。
G 今日は惨敗したがそのうち（ ）つもりだ。

- ①すねかじり ②鼻をあかす ③鼻にかける ④お手の物 ⑤口の下
⑥気もそぞろ ⑦泥をかぶる ⑧尻をまくる ⑨雀の涙

六 次のA～Eの人物として最も適当なものを後の①～⑧の中から選んで記号で答えよ。

解答番号 A 53 B 54 C 55 D 56 E 57

- A 『小説神髓』で写実主義を主張した人物。
B 小説の文体に初めて言文一致体を採用した人物。
C 擬古典主義の代表作家で雅俗折衷体と心理描写で流行作家となり、『金色夜叉』を著した人物。
D 浪漫主義運動の先駆者で、樋口一葉、泉鏡花などに大きな影響を与えた人物。
E 耽美派の作家で、特に滅び行く江戸情緒への愛着を描いて『すみだ川』などを著した人物。

- ①徳富蘆花 ②夏目漱石 ③川端康成 ④坪内逍遙 ⑤二葉亭四迷
⑥永井荷風 ⑦北村透谷 ⑧尾崎紅葉